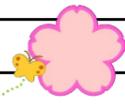


# 3月の行事予定・ごみカレンダー

日	曜	行事予定	ごみ収集
1	日	市民体育大会スキー(ジャイアントスラローム)	
2	月	健康体操教室10:00	燃やせないごみ
3	火	フレフレ元気アップ教室13:30 NPO理事会19:00	燃やせるごみ
4	水		缶類
5	木		
6	金	第8回区長会19:00	燃やせるごみ
7	土		
8	日		
9	月		古紙
10	火	フレフレ元気アップ教室13:30	燃やせるごみ
11	水		ペットボトル 特殊ごみ・硬質ごみ
12	木	文書配達日	
13	金		燃やせるごみ
14	土		
15	日	20歳の集い(恐竜博物館)	
16	月		燃やせないごみ
17	火	フレフレ元気アップ教室13:30	燃やせるごみ
18	水		缶類
19	木	体協総会19:00	
20	金	 春分の日	燃やせるごみ ビュークリーンおくえつ 特別受入日
21	土		
22	日		ビュークリーンおくえつ 特別受入日
23	月	コミセン運営協議会19:00	びん類
24	火	フレフレ元気アップ教室13:30	燃やせるごみ
25	水		プラスチック資源
26	木	文書配達日	
27	金		燃やせるごみ
28	土		
29	日		
30	月		燃やせないごみ
31	火		

## 令和7年度野向町重大ニュース

**募集中**

今年度の野向町重大ニュースを募集します！素敵な事、楽しかった事、気になった事どんな出来事があったでしょうか。1年を振り返り思い出してみましょ。

**内容：1位～3位までのニュース  
お名前・住所・電話番号**

☆記入してコミセンまでお持ちください。  
メールでもOKです！  
(記入用紙はお家にあるもので結構です)  
**締切り 3月5日(木)**

☆応募者の中から抽選で10名様に、景品をプレゼントいたします。

メール：c-nomuki@nomuki-kazenosato.jp



### 野向地区社協より

今月は1月22日(木)深谷道場で開催されたサロンの様子をご紹介します。雪の降り積もる中、常会の前に勝山市消防署予防課から消防士さんをお迎えし、電気製品による火災・地震時の火災の防火についてお話いただきました。短いながらもお茶タイムはさみ、交流のひと時を持ちました。現在各地区サロンは、民生委員さんのお力を借りて開催しております。今回は区長さんにもご協力いただきありがとうございました。



### 野向コミセンより

**輪転機の印刷料金が変わります**

輪転機・製版1回100円⇒**130円**  
用紙持込あり1枚 1円⇒**2円**  
用紙持込なし1枚 3円⇒**4円**

※通常印刷1枚10円、写真印刷L版1枚50円は今までどおりの料金です。

はい、勝山市消費者センターです！  
どうされました？ ☎88-8103

Q. 郵便で警察から逮捕状が届いた。怖い。(60代)  
A. 全国的に金銭をとられる被害が発生しています。本物の警察は逮捕状を郵送することはありません。応じず、最寄りの警察署へ相談しましょう。



### 野向町の人口と世帯数 (R8.1.31現在)

男性 268人 (±0) 女性 288人 (±0)  
合計 556人 (±0) 世帯数 202世帯 (±0)

# のむき通信 風の郷

第335号 February.26.2026  
Nomuki Newsletter



## NPO法人まちづくりのむきのむきの会 地域づくり活動の活動発表

### 奥越中山間地域シンポジウム

2月10日(火)、健康福祉センター「すこやか」にて「奥越中山間地域シンポジウム」が開催され、約150名の参加者が集まりました。シンポジウムでは、奥越地域の農業・農村を未来につなぐをテーマに講演会やトークセッションが行われました。事例発表としてNPOまちづくりのむきの会(西出理事長)が登壇し、農村RMOの取り組みについて紹介しました。地域のつながりを守り、暮らしを支えるための実践を共有する貴重な機会となり、参加者の皆さんからも多くの関心を寄せていただきました。

### 農村RMO専門家指導研修会

2月13日(金)野向コミセンで東京農業大学元講師・宮田正信氏を招き、農村RMO研修会を開催しました。町民21名が参加し、宮田氏の気さくな語り口に熱心に耳を傾けていました。宮田氏からは、農村RMO事業の目的は地域の自立。農業や園芸は人と人をつなぐ大切なツールであること、そして地域の課題を共有し、自分たちで決めて行動することが、過疎化や高齢化の中でも持続可能な地域づくりにつながるのお話がありました。参加者にとって、野向町の未来を考える貴重な機会となりました。

※農村RMO(農村型地域運営組織)とは人口減少が顕著な「中山間地域」の農地保全と農業を軸に、住民、法人、自治会などが一体となって「地域経営」に取り組む組織のことです。

## 第4回 のむき活性化協議会実行委員会

2月17日(火)、実行委員会では各グループごとに会議が行われました。先日の宮田氏の研修会では、**3つのグループが互いに連携し合うことが大切**であるとの助言もいただきました。今後はグループ間のつながりを深め地域づくりに向けた取り組みをさらに進めていく予定です。

● 農用地保全グループ  
定植機や選別機といった高額機械の導入に向け、令和7年度の補助金申請を7月ごろに予定、横倉水力発電の補助金も活用できないか検討を進めています。さらに、エゴマの収穫量を安定して増やすための取り組みとして、ハウスで苗を一括して育苗し、機械で定植する方法について意見が交わされました。苗の提供体制を整えることで、作業の効率化と収穫量の向上が期待されています。

● 地域資源活用グループ  
イートインスペースの改修について搾油工場の移転は難しい状況とのこと。そこで、別の形でイートインスペースを確保できないか、また提供できるメニューや活用方法について、グループ内でさまざまな案を出し合いました。

● 生活支援グループ  
当日は参加者が少なかったため、地域資源活用グループと合同で話し合いを行いました。野向のボランティア活動について意見交換を行い、移動支援体制づくりに向けては、メンバーが2月5日のオンライン講習会に参加しました。今後の具体的な取り組みについては、次回の会議で検討を進めることになりました。

## 移動支援研修会

【移動支援について考えよう】

2月5日(木)野向地区社協主催で「移動支援オンライン研修会」が開かれ、NPO法人全国移動サービスネットワーク副理事長の河崎氏から、全国の取り組みや野向町へのアドバイスをいただきました。

参加者からは「移動支援は保険や担い手の問題でハードルが高いと思っていたが、全国の小さな地域でも工夫して実践していることや、法制度が互助活動に柔軟に対応していることを知り、取り組みやすさを感じた」という声もありました。

また、男性がサロンに参加しやすくなる工夫や、さわらび会のお弁当配達を活かして「のむき風の郷」で一緒に食事をする場づくりなどについても意見交換が行われ、介護予防にもつながる良い取り組みだと評価されました。

地域で支え合い、安心して移動できる体制づくりが進むことで、誰もが住み続けやすい野向町に近づいていくと感じられる講習会となりました。



講師：河崎 民子氏

越前甲・高尾山

まちづくりのむきの会

NPO法人コーナー

奥越に春を呼ぶ「勝山左義長」も終わり、やっと春の兆しを感じられるようになりました。4月からの新年度に向け、新たな活動や新しい生活が待っている人もたくさんおられることとあります。「NPO法人活動」、「のむき風の郷」、農村RMO事業の「のむき活性化協議会」、それぞれが地域の活性化のために、良いスタートがきれるように頑張っています。

のむき風の郷 屋上防水工事協力金

突然のお願いにも関わらず、すでに、沢山の人の協力をいただいています。本当にありがとうございます。引き続きご協力をお願い致します。

8年は…「NPO法人まちづくりのむきの会」編

(1) 主な行事日程

- ①のむき風の郷開店日…4月1日(水)
- ②イベント開催日
  - ・山菜まつり…4月26日(日)
  - ・トウモロコシ収穫祭…7月12日(日)
  - ・コスモまつり…10月11日(日)
  - ・感謝祭…11月22日(日)
- ③NPO法人総会…5月19日(火)

(2) 新たな取り組み 若年層の活動活性化

- ①のむき活性化協議会との連携  
「のむき、行くもん!」… のむき=NOMUKI 逆から読むと IKUMON  
こんなマークに、可愛い、行こうとする人(動物)のイラストを



※ストーリーやキャッチコピー、イラストを町民、小学生、中高生から募集します。詳細は3月のお知らせで!!  
案としては、「風野郷子(かぜのさとこ)ちゃん」というキャラクターを作ります。

平成24年9月24日生まれ、13歳、野向町で頑張ろうと夢を膨らませる中学1年生の女の子。皆さんで、この郷子ちゃんの夢をかなえるお手伝いをしていきましょう。

(3) スタッフ・協力者

- ①幅広い人員に依頼(時給1,000円)
- ②野向町以外の良いものの取り入れ、関係人口の増大
- ③活動の重要性と必要性のアピール



エゴマ栽培・野菜栽培研修会

2月18日に、野向町コミュニティセンターで、エゴマ栽培、野菜栽培研修会が開催されました。寒い中、沢山の人が参加してくださいました。今回の野菜作りに関する講習会は3回目で、種蒔きに関する情報提供をして頂き、とても好評でした。この野菜栽培研修会は、7月22日(水)にも「秋冬野菜栽培」の内容で開催する予定です。

市民体育大会スキー競技会(クロスカントリー)



2月1日(日)市民体育大会スキー競技会クロスカントリー部門が「かつやま恐竜の森」で開催されました。野向町からは7名の選手が出場。雪の降りしきるなかの大会でしたが健闘され、吉川憲男さん(一般男子5部)・山内大平さん(一般男子3部)が3位入賞されました! 選手のみなさん、たいへんお疲れ様でした。



エゴマ栽培農家講習会

令和8年2月18日(水)エゴマ栽培農家募集説明会(主催:のむきのエゴマの里組合、(株)のむきのエゴマ)が行われました。エゴマは血液をサラサラにするαリノレン酸が豊富にあり、健康にとっても特化した食べ物です。テレビで紹介されてのむき風の郷の前行列ができたことに触れ注目度の高いことが伝わりました。

参加された方は熱心にエゴマの栽培方法や出荷に関しても耳を傾けていました。今後、エゴマ栽培に興味をもっていただけことを期待したいです。



野菜の栽培講習会

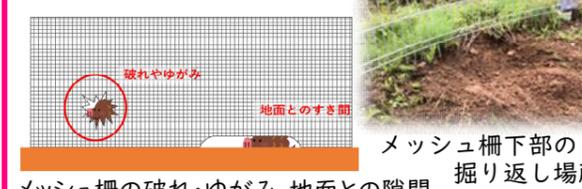


令和8年2月18日(水)毎回好評の野菜栽培講習会。今回30名の参加がありました。松田氏の気さくな語りに参加者の方は釘付けでした。土づくりとタネの発芽について中身の詰まった講習会となりました。その後、牧野氏からは道の駅の野菜市場への出荷依頼についてや基準を満たした登録されている農薬を使用してほしいとの説明がありました。

講師:松田勇二氏(福井県農林水産部園芸振興課) 牧野晶子氏(奥越農林総合事務所技術経営支援課)

「防護柵」を点検しましょう!

- 降雪・除雪作業等により、防護柵が損傷している所が見られます。融雪後、必ず「複数人で」圃場近辺、山際の防護柵を見て歩きましょう。
- 点検のポイント
  - ・降雪、融雪、除雪作業に伴う破損箇所、メッシュ柵の破れ、ゆがみは早急に補修する。
  - ・イノシシ等による掘り返し場所もすぐに補修し、地面とのすき間を無くす。
  - ・潜り込み防止のため、地面とのすき間ができないように地際を補強する。(イノシシ、シカ、中獣類は基本、“地面との隙間”から侵入します。)



クマやサル等の野生動物の目撃、被害・相談がありましたら、勝山市役所 農林課 森林整備・鳥獣害対策係まで連絡をお願いします。 TEL 0779-88-8121

こんにちは! さわらび会(食生活改善推進委員)です

あなたが普段食べているものには、どれくらい食塩が含まれているかご存じですか?

みそ汁 (1杯) 約1.5g	インスタントスープ (1袋) 約1.2g	きゅうりのぬかみそ漬 (5切れ) 約1.6g	梅干し (1つ) 約1.8g
ちくわ・中 (1本) 約0.6g	ウイナナーソーセージ (1本) 約0.5g	塩鮭・甘塩(甘口) (1切れ) 約1.4g	かた焼きせんべい・大 (2枚) 約0.6g
うどん (1杯、汁を含む) 約5~6g	食パン・6枚切 (1枚) 0.7g	塩 (小さじ1杯) 6.0g	濃い口しょうゆ (小さじ1杯) 0.9g

高血圧治療の減塩目標は1日6g未満! 食塩を多く含む食品はなるべく控え、減塩心がけましょう。 次号に続く